

小学5年 社会 — 解答と解説

1

問 1	問 2	問 3	問 4	問 5	問 6
ウ	ア	ア	ウ	エ	イ
21	22	23	24	25	26

問 7		
(1)	6.3	北海道では一戸あたりの耕地面積が 都府県に比べて広いから。
27	(2)	
		28 29 30

問 8	問 9	問10	問11	問12
ア	イ	エ	ウ	イ
31	32	33	34	35

問13	問14
屯田(とんでん) (兵)	ウ
36	37

2

問 1	問 2	問 3	問 4	問 5
打製(だせい) (石器)	イ	ア	イ	エ
38	39	40	41	42

問 6	問 7	問 8	問 9	問10	問11
ウ	エ	イ	エ	エ	ウ
43	44	45	46	47	48

問12	問13	問14		
ウ	大宝(たいほう) (律令)	a	6	b 男女(だんじょ)
49	50	51		52

問15	
(1) ア	(2) 防人
53	54

3

問 1	問 2	問 3	問 4
ア	莊園 (しょうえん)	エ	ア

55565758

問5			問6	問7	問8	問9
え	み	し	ウ	エ	ア	イ
59			60	61	62	63

問10	問11		問12	問13
ウ	上	皇	大輪田泊 (おおわだのとまり)	イ
64	65		66	67

問14
源氏 (げんじ) (物語)

68

(配点)
1 問 7 (2) 5 点
1 問14 2 問14 a b 3 問 7 問 8 3 点
上記以外各 2 点 計100点

【解 説】

① 北海道に関する問題

問1 A2 置き換え 比較

北方領土は択捉島、国後島、色丹島、歯舞群島からなり、日本固有の領土ですが現在ロシアが占領しているため、日本政府はその返還を要求しています。択捉島は北方領土を含む千島列島最大の島で、面積約3200km²と鳥取県よりやや小さい程度の大きさです。

問2 A2 比較

苫小牧市にある苫小牧港は、1951年に建設が開始された砂丘を掘り込んだ人工港です。イは帯広市、ウは函館市、エは旭川市のことです。

問3 A2 置き換え 比較

aの天塩川は天塩岳に水源を発し、日本海に注ぐ長さ約256kmの川、bの石狩川は石狩岳に水源を発し、日本海に注ぐ長さ約268kmの川、cの十勝川は十勝岳に水源を発し太平洋に注ぐ長さ約156kmの川です。

問4 B1 特徴的な部分に注目する 置き換え 比較

石狩川の流域にはa・bのような川の蛇行跡である三日月湖が多数見られます。

問5 A1 比較

マリモは球状の藻で、阿寒湖のマリモは特別天然記念物に指定されています。ア～エの湖はいずれも火山の活動により形成された湖です。

問6 A2 具体・抽象 比較

北海道の家では様々な寒さへのくふうがなされています。廊下を少なくするのは暖かい空気を逃がさないためのくふうです。瓦をしっかりと固めるのは沖縄県の家の台風へのくふう、高い石垣の上に家を建てるのは洪水が多発する地域でみられるくふう、雁木は雪の多い地方で見られるくふうで、雁木とは通路上に設けられる雪よけのための屋根のことです。

問7

(1) B1 置き換え 比較

$9507 \div 1510 = 6.296 \Rightarrow 6.3$ となります。

(2) B2 特徴的な部分に注目する 推論 理由

北海道の農家の1戸あたりの耕地面積は、都府県の農家の約13.9倍広いことが資料より分かります。北海道では広い耕地を効率よく使った農業を行っているため、2020年の都道府県別農作物生産量では、大豆、じゃがいも、そば、いんげん、たまねぎ、にんじん、かぼちゃ、小豆などが第1位となっています。

問8 A1 比較

輪作とは、同じ土地で異なった作物を1年から数年ごとに順番に栽培して地力の回復を図る栽培方法のことです。単作は同じ土地に1種類の作物だけをつくること、転作は同じ土地でそれまでとは異なる作物を栽培すること、連作は同じ土地で同じ作物を繰り返して栽培することです。

問9 A2 比較 理由

北海道の東部にある根室市や釧路市周辺では、千島海流の影響で夏に気温が上がらず霧がよく発生するため、道内の他の都市に比べて夏の日照時間が少なくなっています。千島海流は千島列島に沿って南下しながら流れてくる寒流で、栄養分に富んでいるため親潮とも呼ばれます。

問10 A2 分類

酪農は乳牛を飼育し、酪農品の販売を目的として行われる農業です。大都市に近い地域や、冷涼で湿潤な気候の地域で発達しています。寒天はテングサなどの海藻からつくられ、冬期に晴天が多く寒暖差の大きい長野県茅野市や岐阜県恵那市などで生産されています。

問11 A1 比較

ほたて貝の養殖が盛んなサロマ湖は、北海道東部にある潟湖で面積が約151km²と北海道で最大、全国で3番目に大きい湖です。砂州によりオホーツク海と隔てられていて、周辺は出入りの少ない単調な海岸線となっています。北海道のほたて貝の生産はサロマ湖の他に内浦湾（噴火湾）などで盛んで、その生産量は青森県に次いでいます。

問12 A2 分類

稚内はヤムワッカナイ（冷たい飲み水の川）から、小樽はオタオルナイ（砂浜の中の川）から、室蘭はモルエラニ（小さな坂道の下りた所）から命名されています。北海道には他に、サット・ポロ（乾いた大きい土地）からつけられた札幌、ヌプル・ベツ（色の濃い川）からつけられた登別など、多くのアイヌ語由来の地名があります。伊達には宮城県から移住した人々がつけた地名です。

問13 A1 知識

屯田兵は明治時代に北海道の警備と開拓にあたった兵士で、1874（明治7）年に制度が設けられ、1904（明治37）年に廃止されました。

問14 B1 特徴的な部分に注目する 具体・抽象 比較

米は熱帯性の作物で、かつては北海道では全く収穫できませんでした。その後品種改良が進み、石狩平野や上川盆地などは全国で有数の米の産地となっています。しかし現在でも夏の気温があまりない道北や道東地方では米の作付けが行われていません。

② 旧石器時代～飛鳥時代に関する問題

問1 A1 知識

旧石器時代の石器は、主として石を打ち欠いてつくった打製石器です。縄文時代になると、石を磨いてつくった磨製石器が広まりました。

問2 A1 比較

群馬県の岩宿遺跡で1946年に石器が発見され、その後の学術調査により、その石器が旧石器時代のものであると確認されました。この結果日本にも旧石器時代があったことが明らかになりました。板付遺跡は福岡県にある縄文時代から弥生時代にかけての遺跡で、水田跡などが出土しています。鳥浜遺跡は丸木舟などの木製品が出土した福井県にある縄文時代の遺跡、登呂遺跡は水田跡が発見された静岡県にある弥生時代の遺跡です。

問3 A2 比較 理由

三内丸山遺跡は青森県にある縄文時代の遺跡で、計画的なむらづくりや栗の栽培跡などが見られます。新潟県で産出されるヒスイが発見されていることから、当時物々交換で交易が行われていたことが分かります。イトウは平安時代のこと、エは法隆寺五重塔などのことです。

問4 A2 比較

弥生土器は、縄文土器に比べて高い温度で焼かれているなどの理由から、薄手で硬い、赤かっ色という特徴がある土器です。1884年に文京区弥生で最初に発見されました。縄文時代の土器は低い温度で焼かれているため、こわれやすいという特徴があります。

問5 A2 比較 推論 順序立てて筋道をとらせる

稲作が行われるようになった弥生時代から貧富の差や身分の差が生まれ、力をたくわえた有力者が豪族となり、周囲のムラを従えていきました。佐賀県にある吉野ヶ里遺跡からは戦いに備えた物見櫓や濠などが発見されています。土偶は縄文時代につくられた土人形で、栗などが多く収穫されることを願ったり、魔除けや子孫の繁栄を祈ったりするために使用されたのではないかとされています。

問6 A2 比較

高床倉庫は収穫した稲の穂などを保管した倉庫で、湿気を防ぐために床を高くして風通しをよくしていました。弥生時代の銅鐸などに多く描かれています。木造で壁が鉄でつくられていたことはありません。

問7 A1 比較

『魏志』倭人伝には、3世紀初め頃に卑弥呼という女王が呪術をもって邪馬台国を治めていたこと、邪馬台国に身分の差があったこと、入れ墨の風習があったことなどの様子が描かれています。

す。邪馬台国はその所在地をめぐって九州説と畿内説に分かれています。5世紀頃の日本の様子が描かれているのは『宋書』倭国伝、1世紀半ば頃の奴国が中国に使いを送って金印をもらったことなどが描かれているのは『後漢書』東夷伝、紀元前1世紀頃の日本が100余りの国に分かれていたことが描かれているのが『漢書』地理志です。

問8 A2 比較 理由

佐賀県の吉野ヶ里遺跡などでは集落の周囲に濠がめぐらされ物見櫓なども建てられていました。これはクニ同士の争いに備えていたと考えられています。

問9 A2 比較

稲荷山古墳から1968年に出土した鉄剣に、「ワカタケル大王」と読める文字が記されていたことが、1978年に判明しました。「ワカタケル大王」は雄略天皇であると推定されていますので、このことから当時の大和政権の勢力が関東地方にまで及んでいたことが分かります。稲荷山古墳は埼玉県行田市にある古墳群の1つで、長さ約120mの前方後円墳です。

問10 A2 分類

渡来人とは、4世紀頃からおもに朝鮮半島から日本に移り住んだ人々のことです。渡来人により漢字や儒教、仏教といった文化や、土木工事や養蚕・機織り、須恵器を焼く技術などが日本に伝えられました。青銅器は主に銅と錫からつくる合金である青銅でできていて、日本には弥生時代に伝わってきました。

問11 A2 比較

冠位十二階の制度は、聖徳太子が603年に設けた、家柄にとらわれず才能のある人などを朝廷の役人に取り立てるための制度です。

問12 B1 視点を変える 具体・抽象 比較

聖徳太子らは日本と隋が対等な立場であることを認めてもらうことを目指し、「日出づる処の天子、書を日没する処の天子に致す…」と記された国書を小野妹子に託しました。国書は隋の皇帝煬帝に届けられましたが、煬帝は文面を見て「非常に無礼であるので、このような内容の手紙は今後見せるな」と怒ったことが、『隋書』に記されています。『日本書紀』には607年に遣隋使を送ったことしか記録されていませんが、『隋書』には600年にも遣隋使が派遣されたことが記されています。

問13 A1 知識

大宝律令は文武天皇の命により、刑部親王や藤原不比等らがつくりました。大宝律令では中央に神祇官と太政官の二官と、様々な仕事を行う八省を設置することが定められました。律令は古代の基本法典で、律は刑法、令は行政法・民法にあたります。

問14 B1 特徴的な部分に注目する 具体・抽象 要約する

公地公民制では6年ごとに戸籍を作成し、それに基づいて6歳以上の男には2段、女にはその3分の2の口分田を与え、それによって農民の生活を保障し税を確保しようとした。公地公民制は、それまでの氏姓制度による私地私民を廃止し、土地や人民はすべて朝廷のものとするという制度です。

問15

(1) A1 比較

地方の特産物を中央政府に納める税は調で、中央政府の主要な財源となっていました。庸は布などを中央政府に納める税です。調や庸は農民が都へ運ばなければならず、その往復の食料は自分たちで用意しなければなりません。そのため農民の負担は大変重く、調や庸の負担のない女性として戸籍に偽って登録することなどが多く見られました。雑徭は国司が農民などを年60日を限度として労働させることができる労役、租は稲を国司に納める税です。

(2) A1 知識

兵役のうち九州の防備に派遣される防人は厳しい仕事でした。防人の任務にはおもに東国の農民がつかしました。

③ 奈良時代～平安時代に関する問題

問1 A1 比較

行基は橋を架けるなどの社会事業などを行い、また政府の要請を受けて東大寺の大仏造営に協力した僧です。最澄は天台宗を、空海は真言宗を開いたどちらも平安時代の僧です。鑑真は5度にわたる渡航失敗により盲目となりながら来日し、正しい仏教の教えを広め唐招提寺を開いた奈良時代の僧です。聖武天皇は仏教をあつく信仰し、仏教によって国家を災害や反乱、疫病から守ってもらうという鎮護国家思想のもと、国ごとに国分寺と国分尼寺を、総国分寺として東大寺を建て、そこに大仏（盧舎那仏）をつくりました。

問2 A1 知識

聖武天皇は743年に墾田永年私財法を發布し、私有地の永久所有を認めました。この結果貴族や大きな寺院や神社の私有地である荘園が増加していき、公地公民制はくずれていきました。

問3 A2 比較 推論 理由

桓武天皇は奈良時代のように仏教の僧侶が政治に口を出してくることを避けること、律令政治を立て直すこと、などを目的に平城京から長岡京への遷都を行いました。

問4 A2 比較

平安京は平城京と同様に唐の都の長安にならってつくられ、中央には南北に朱雀大路があり、道

路は碁盤目状になっていました。北部には行政機関がおかれた大内裏がありました。アは平城京のことです。

問5 A1 知識

えみし（蝦夷）とは東北地方などに居住していた朝廷に従わない人々のことで、朝廷は征服・同化政策を進めました。

問6 A2 比較

関白とは成人した天皇を補佐する役職で、天皇に提出される書類などにあらかじめ目を通しておくことが職務でした。アは蔵人頭、イは摂政、エは勘解由使のことです。

問7 A2 比較 推論 理由

遣唐使は630年から894年の間に20回ほど任命され、そのうち実際に唐に渡ったのは15回ほどです。菅原道真は894年に遣唐使に任命されましたが、唐の国内で内乱が続いていたこと、当時の遣唐使船の造船技術は未熟なうえ新羅と関係が悪化したこともあって、比較的 안전한朝鮮半島沿いではなく危険な東シナ海を横断する南島路や南路を経由しなければならなくなり、遭難が大変多くなっていたこと、遣唐使を派遣するための財政負担がたいへん重くなっていたこと、などから派遣停止を求め認められました。日本と唐が平安時代に朝鮮半島をめぐる戦争をした事実はありません。

問8 B1 特徴的な部分に注目する 比較 理由

藤原氏は娘を天皇と結婚させ、生まれた孫を天皇とすることで外戚として朝廷での勢力を伸ばしました。また他の有力な貴族を次々と朝廷から追放したり、高い官職から多くの収入を得て資金源としたことなども、勢力を伸ばすことができた一因となりました。

問9 A2 具体・抽象 比較

イは藤原道長の三女の威子が後一条天皇の後となる日に道長が詠んだ歌で、藤原氏の全盛時代を築いた満ち足りた気持ちを詠んでいます。アは717年に遣唐使とともに留学生として唐にわたり、のちに唐の高官になった阿倍仲麻呂の歌、ウは平城京の立派な様子をうたった小野老の歌、エは防人にならなければいけない農民が、子どもたちとの別れを悲しんでいる様子を詠んだ、万葉集に載っている歌です。

問10 A1 知識

元伊予国の役人であった藤原純友は、939年から941年にかけて、瀬戸内海の高官になった阿倍仲麻呂の歌、ウは平城京の立派な様子をうたった小野老の歌、エは防人にならなければいけない農民が、子どもたちとの別れを悲しんでいる様子を詠んだ、万葉集に載っている歌です。

問11 A1 知識

院政とは上皇または法皇が自分の住まいで政治を行うことです。白河天皇は藤原氏の勢力を抑えるために上皇となり、1086年から43年間にわたって院政を行いました。

問12 A1 知識

平清盛は現在の兵庫県神戸港の一部である大輪田泊を修築して、積極的に宋との貿易を行い多くの利益を得ました。また天皇の外戚となることで朝廷での勢力を伸ばし、多くの荘園から収入を得て資金源としたことなども、勢力を伸ばすことができた一因となりました。清盛は宋から大量の銭を輸入し、以後宋銭は国内を流通する貨幣の中心となりました。

問13 A2 比較 推論 理由

かな文字は漢字の草書体や偏や旁、冠などの一部を用いてつくられました。かな文字は漢字よりも自分の気持ちなどを書き表すことが容易なため、特に女性に多く用いられ文学の発展につながっていきました。

問14 A1 知識

10～11世紀に栄えた、貴族を中心とした日本風の文化を国風文化と言います。この頃の作品には、11世紀初め頃紫式部によって書かれた長編小説である『源氏物語』の他に、10世紀の終わり頃に清少納言によって書かれた随筆集である『枕草子』などがあります。

(記述問題の採点について)

・明らかな誤字・脱字がある場合…－1点

